

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2016～2017年度 大宮西ロータリークラブ週報



創立：1963年3月22日 会長 新見 和男 第2490例会 2016/10/17
例会場：パレスホテル大宮 幹事 渋谷 廣慶 発行日 2016/11/7
例会日：月曜日12:30～13:30 会報委員長 平岡 健太 会報当番 平岡 健太

会長あいさつ

会長 新見 和男

皆様こんにちは。前例会はピンクリボン運動の啓蒙活動、そして点灯式と長時間に渡りご参加頂きましてありがとうございます。



さて、朝晩めっきり寒くなりました。各地から紅葉の便りが届いておりますが大宮周辺の木々が色づくのもそう遠くないと思います。

ところで10月を「神無月」、どうして神の無い月なのでしょう？ご存知ですよね。

10月になると全国の八百万の神々が会議の為最も偉い神である「大国主大神」が鎮座する出雲大社に集まるので諸国に神様がなくなる事から「神無月」となったと言われてます。出雲大社に参集した神々は、会議では人の録と運命を話し合われたと言われてます。ところが、八百万の神様は出かけてしまいますが、恵比須様だけは地元に残るそうです。地元に残った福の神恵比寿様にオータムジャンボ宝くじの当選や、皆様の商売繁盛を祈願してはいかがでしょうか。

さて先日ボブディランがノーベル文学賞を受賞されました。代表作としては「風にふかれて」「ライク・ア・ローリングストーン」等があげられます。

ゴルフでは、日本オープンが狭山GCで行われ松山選手の強さが際立っていました。そして野球では、昨日CSが終り日本シリーズはセリーグが広島カープ、パリーグは日本ハムファイターズと決まりました。日本シリーズがとても楽しみです。

さて、本日の卓話は埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園の伊藤校長をお迎えしております。どうぞ宜しくお願い致します。

お客様ご紹介 福田和子 副会長

埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園
校長 伊藤えつ子 先生
同上 高等部 中村一幾 先生
浦和ロータリークラブ 副SAA 里中宗一郎 様

お客様ご挨拶

浦和ロータリークラブ
副SAA 里中宗一郎 様



幹事報告

幹事 渋谷廣慶



1. NPO法人国際ロータリー日本青少年交換委員会が他地区合同奉仕活動であることを承認する件、という長文のタイトルの案件に対して、会長・幹事は、同意の署名をしました。
上記の件は、掻い摘んで申し上げますと、青少年交換委員会が地区レベルではその業務の煩雑さ、重大さ由に、休止されている地区、一部の委員に業務が加重になっている地区等が散見されます。これを34地区のNPO法人・・・で、各地区委員会が抱えている業務を軽減して青少年交換事業を活性化することだと思えます。
2. 来週24日(月)は、9日のピンクリボン運動移動例会の振替休会になります。
また、31日(月)は、大宮ろう学園での財団地区補助金を使った寄贈照明器具の点灯式を移動例会という形で行いますので出席の程宜しくお願い致します。以上です。

親睦と奉仕そして人づくり

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4F

TEL. 048-871-8881 FAX. 048-871-8882

E-mail: info@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/



委員長報告

会員増強維持部門 高橋誠一 委員長



会員拡大部門長の高橋です。ここで一気に一人が一人紹介して130人から150人に増やしましょう。11月30日までに紹介をお願いします。

社会奉仕委員会 吉田奉行 委員長



10/31(月)大宮ろう学園「夜間照明点灯式」移動例会の次第は以下の通りです。

記

- 16:00 集合(大宮ろう学園グラウンド)
- 16:05 キックベースボール始球式(新見会長)及び試合開始
(大宮ろう学園チームVS 警察学校チーム)
- 16:10～ 移動例会(大宮ろう学園2階会議室)
- 16:25～ キックベースボール試合観戦
- 16:45～ 点灯式(大宮ろう学園グラウンド)
 - ・主催者挨拶(伊藤校長、新見会長)
 - ・夜間照明 点灯カウントダウン
- 17:15～17:45(予定)
リレー対抗戦
(大宮ろう学園チームVS警察学校チーム)

リレー終了後に、現地解散。 以上

親睦委員会 藤嶋剛史 委員長



11月27～28日の親睦旅行移動例会について。

出欠の返信、また残念ながらご参加も少ないので再度ご案内いたします。11月の軽井沢は寒いのでは?という声もありますが、寒いのはバスとホテルの入口の間だけなのでご安心を。観光やゴルフは上田や富岡なので、涼しいと思っていただければ...

途中参加・日帰り・ゴルフのみの参加も大歓迎です。通常の例会では出来ない、長時間をともに過ごし、多くの思い出を共有できるこの例会は、急速に会員が増える当クラブにおいて、より早く会員間の絆を深めるための大切な機会です。ぜひぜひ多くの皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

第2770地区 職業奉仕部門 清水恒信 委員長



職業奉仕について少しお話をさせていただきます。

前回ロータリークラブは奉仕と親睦は車の両輪という話をさせていただきました。前回のおさらいを致します。親睦はお話するまでではないでしょうから奉仕について地域社会に奉仕するから社会奉仕、国際的に奉仕するから国際奉仕、青少年に奉仕するから青

少年奉仕、職業に奉仕するから職業奉仕と申し上げました。今日は、ロータリーの目的の第二を覚えて頂くと共にロータリーソングの我らの生業の歌をご注目頂きたくご案内申し上げます。今日は時間がございませんので、ロータリーの目的第二と我らの生業の歌を次にお会いするまで少し注目して頂ければと存じます。今週10月21日金曜日、職業奉仕セミナーご登録いただきました43名の皆様お忘れなきようご案内致します。

第2770地区 財団奨学・平和フェロー委員会 田口修身 委員



<ロータリー財団奨学生募集 >

ロータリー財団は様々な活動を行っています。財団奨学生として年間2万ドル、4万ドルという支援をしています。世界で活躍を目指している方をサポートしています。古くは国連で活躍された緒方貞子さんは財団奨学生の一期生です。ロータリアンの家族などは応募できませんが知り合いで留学希望の人がいたら是非推薦して下さい。

R L I パート II 終了証



右から高橋秀樹、福田和子、新見和男会長、島村まり子、村松宏呂子、各会員

ロータリーの友

広報・雑誌委員会 田原直樹 副委員長



ロータリーの友10月号の概要をご説明します。ロータリー活動の概要が分かりますので、ご一読をお願いします。

【横組みから】

- ① R I 会長メッセージ < P 3 >
ポリオ撲滅に向けた最後の闘いと述べ、10月24日の「世界ポリオデー」を記念して意識を高めようと呼びかけは重要だと思います。
- ② 日本のオリンピックとロータリー < P 7 ~ 13 >
国立競技場の聖火台の台座を寄付しそこにロータリーマークがついていた事など興味深い記事です。
- ③ End Polio Now < P 14 ~ 17 >
紛争地域での過酷な活動ではポリオワーカーが20ヶ月で80人も殺されたそうです。日本政府も多額

の支援金を出しています。人間の力で絶滅させることが出来る数少ない疾病です。

④よねやまだより「巣立った奨学生たちは、いま」<P23>

日本や母国での米山学友の活躍が紹介されています。大宮北東RCが世話をしたベトナムのチュオンさんは翻訳家として活躍しています。

【縦組みから】

①「自分に誇りを持って相手を理解する」<P4～8>

今年度当地区の奉仕プロジェクトセミナーでも講演をしていただいたNPO法人ロシナンテスの第2660地区のIMでの基調講演要旨です。

②クラブを訪ねて：佐渡RC<P9～12>

佐渡というと日本海に浮かぶ島で遠く感じるが、東京を7時に出て11時前には両津港に着くそう。会員42名だが出席率はとてもよく仲の良いクラブで、朱鷺の繁殖への協力や自然回復の活動にも力を入れている。楽しそうなクラブの様子がよくわかります。

③友愛の広場：卓話がきっかけで事業へ<P13>

国蝶オオムラサキについての卓話がきっかけで地域住民と協力してオオムラサキ観察ハウスを設置して市へ寄贈した。

【第2770地区内からの掲載記事】

・「横組み」から

①巣立った奨学生たちは、いま<P23>

大宮北東RCでサポートしたベトナムのチュオンさんの活躍が紹介されています。

・「縦組み」から

①ロータリーアットワーク（文章編）<P30>

「合同親睦例会IN京都」蓮田RC

解消法により、公立の学校では「合理的配慮」を行うことが義務づけられました。本校でも、保護者に丁寧に説明し、出された合理的配慮のほとんどを合意形成しております。

2つ目に、聾教育の変化についてです。近年、新生児スクリーニングが始まり、生まれてすぐに聴覚障害の有無がほぼわかるようになり、乳幼児からの早期教育の充実が図られました。本校でも約30名の乳幼児を受け入れ、3名の教員で教育相談を行っております。

また、大学進学者が増えはじめ、最近では、全国の聴覚に障害のある生徒の約20%が進学しております。本校でも2015年度には10名中3名、今年度の進学希望者は12名中4名となっております。

さらに補聴器の進歩、人工内耳の普及等により聞こえのよい者が聾学校に増えてきました。本校でも人工内耳を装着している者が約30%おり、手話だけでなく、声を出す等の多様なコミュニケーション手段を用いて授業を行っております。

結びに、このような特別支援教育や聾教育の大きな変化をしっかりと受け止め、教職員一丸となり、地域に根差し、地域の方々に愛され、頼りにされる学校づくりに邁進してまいります。



ゲスト卓話

埼玉県立特別支援学校
大宮ろう学園
校長 伊藤えつ子 先生



卓話に御指名いただきましたので、これからお話をさせていただきます。

1つ目は、特別支援教育の変化についてです。2014年、国連で採択された「障害者の権利に関する条約」が日本で批准され、これに向けて国内の法整備が進められてきました。特別支援教育の大きな転換が図られたのもこのような動きの中でのことです。まず、2007年の法改正により、特殊教育制度が特別支援教育制度になり、これにより校名が養護学校から特別支援学校に変わりました。

また、2011年、「障害のある者と障害のない者がともに学ぶシステム」の構築に向けて動き出し、障害のある子供は原則特別支援学校に就学するという仕組みを改めることになりました。

さらに、2016年4月に施行した障害者差別

ロータリーの目的

本日のリーダー：
高橋真貴子 会員

四つのテスト

本日のリーダー：
齊藤政春 会員